

農業クラブとは

学校農業クラブは、1948 年（昭和 23 年）に学校農業クラブ(SAC : school Agriculture Club)として、戦後の新制高等学校の学習活動の中で、農業高校生の自主的・自発的な組織として日本全国で誕生しました。

1950 年（昭和 25 年）全国組織を作る動きが強まり、全ての都道府県に農業クラブが誕生し、11 月 2 日に東京の日比谷公会堂において「科学性」「社会性」「指導性」の育成を目標に、日本全国の農業クラブの全国組織として、日本学校農業クラブ連盟【Future Farmers of Japan（略称：日連 または FFJ）】は、結成されました。

FFJ はアメリカ合衆国の農業に関する学習をしている高校生や大学生の組織である FFA (Future Farmers of America : National FFA Organization) をモデルに作られました。

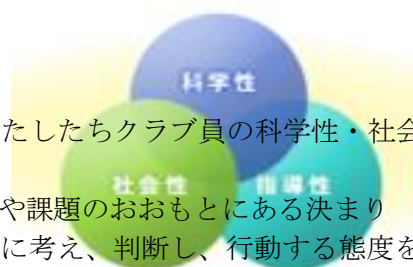
現在でも友好組織団体として National FFA organization とは FFJ クラブ員の米国派遣研修や、FFA 全米役員日本視察団の受入など、交流を続けています。FFJ は半世紀以上もの歴史を持ち、農業教育における「生きる力」を育むために大きな成果をあげてきました。そして FFJ は先輩たちの残した多くの偉業を継承しながら、たゆまぬ学習活動を続けてきました。

平成 12 年には、結成以来 50 年という大きな節目を迎え、「連盟結成 50 周年記念大会」(宮崎大会)が盛大に開催されました。

農業クラブの目標

学校農業クラブでは、自主的・主体的な活動を通してわたしたちクラブ員の科学性・社会性・指導性を高めることを目標にしています。

- ◆科学性・・・私たちに科学性があるということは、物事や課題のおおもとにある決まりやいろいろな関係を、筋道をたてて合理的に考え、判断し、行動する態度を身に付けているということです。
- ◆社会性・・・私たちに社会性があるということは、自分と他人で構成する組織などの社会の出来事に関心を持ち、他人の意見や行動を尊重しながら、自分の考えを表現することができ、社会の一員として協力して行動する態度を身に付けているということです。
- ◆指導性・・・私たちに指導性があるということは、民主的、合理的に判断する力を身に付け、より良い方向へ組織やグループおよび自分自身をみちびき、目的を達成しようとする行動する態度を身に付けているということです。



農業クラブのマーク



FFJマーク (1950年制定)

鳩と富士の稲穂マーク

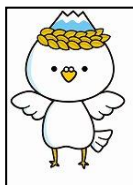
このマークは、日本学校農業クラブ連盟のシンボルとし 1951 年に制定され、バッジや連盟旗に用いられています。鳩は平和と友愛と協同を表し、富士山は日本を表し、稲穂は日本の農業を表しています。

鶴翼の飛翔（かくよくのひしょう）マーク

このマークは、連盟結成 50 周年を記念して 2000 年に作られました。二羽の鶴はクラブ員を表し、中央のボールは豊かな水をたたえる地球とその自然環境を表し、稲穂は食料の収穫、すなわち農業を表しています。二羽の鶴が地球と農業を協力しながら抱え込み広く宇宙を飛翔するイメージです。



FFJシンボルマーク
鶴翼の飛翔 (2000年制定)



マスコットキャラクター 「のうくっく」

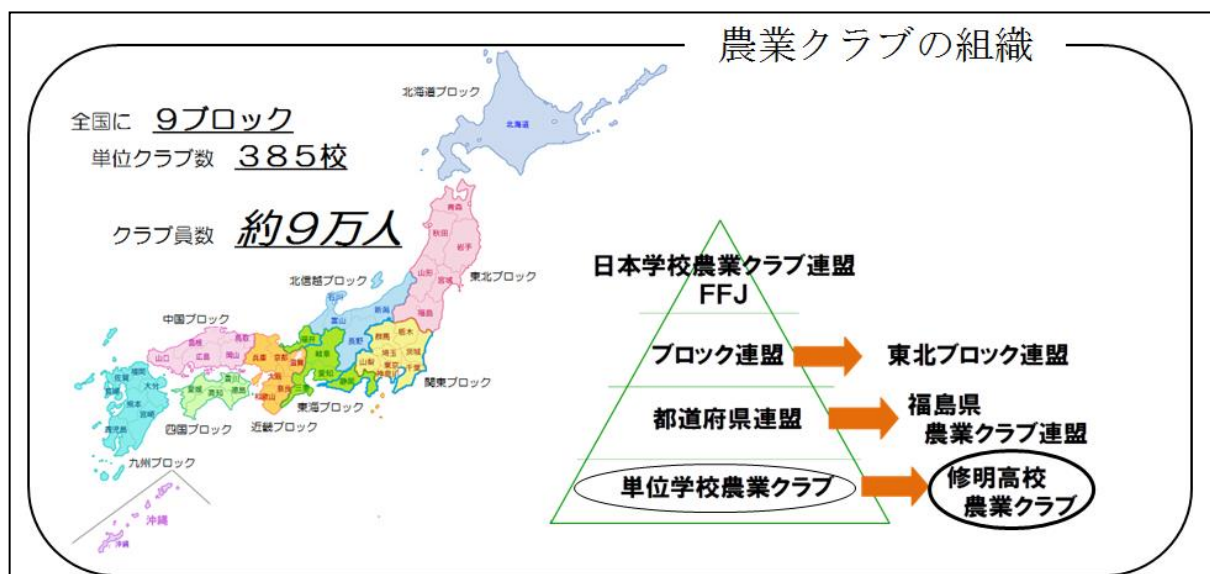
農業クラブの組織

農業クラブは全国組織です。

「単位クラブ」→「都道府県連盟」→「ブロック連盟」→「日本学校農業クラブ連盟」となります。

修明高校に置き換えると

「修明高校農業クラブ」→「福島県連盟」→「東北連盟」→「日本学校農業クラブ連盟」となり、各種大会や研修会などの活動を全国規模で展開しています。



農業クラブ各種競技大会

農業クラブ活動の中で、最も盛んに行われている行事が、各種競技大会です。
校内予選→県大会→東北大大会→全国大会へとつながっています。
競技種目は以下のものがあります。

【農業鑑定競技会】

農業に関する知識・技術の成果を、鑑定・判定・診断等において、その実力を競い合うものです。

競技の実施区分と出題範囲は、所属する9つの学科・コース（農業、園芸、畜産、生活科学、農業土木、林業、食品科学科、造園、農業機械）に分かれます。

出題数は40問で、1問当たりの解答時間は20秒です。ただし、最後の2問は40秒問題となっており難問です。要は、机の上に並べられた農業生物、種子、肥料、機械機具、農薬、薬品、実験器具・・・等々を20秒というわずかな時間で鑑定・判定し、解答用紙に書き込んでいき、その正解率を競うというものです。

40秒問題は、農薬や肥料、試薬などの計算問題が多く、備え付けの電卓を使ってもよいことになっています。



【プロジェクト発表会】

日頃のプロジェクト活動の成果をパソコンとプロジェクターなどの視聴覚機器を使って発表することにより、クラブ員の科学的な資質の向上を図ります。発表時間は10分です。

発表は、10名以内とされ、個人・グループで行われます。発表者の他、指示棒やレーザーポインター等を使った指示者、パソコンの操作係が必要となります。また、生産物等の展示や演示も行われます。

発表分野と内容は次の通りです。

■Ⅰ類 生産・流通・経営

1. 農業生物の育成や生産性向上に関すること
2. 農業生産物の流通や消費に関すること
3. 農業の経営や経済活動に関すること

■Ⅱ類 開発・保全・創造

1. 生産物の加工技術や商品に関すること
2. 国土や地球環境の保全・創造に関すること

■Ⅲ類 ヒューマンサービス

1. 動植物や地域資源の活用に関すること
2. 地域の食文化や伝統文化の継承に関すること



【意見発表会】

クラブ員の身近な課題や将来の抱負について7分間の原稿にまとめ発表します。

問題解決のための自主的・積極的な態度と能力を養うことを目的としています。発表者にとっては、いかに自分の気持ちと発表内容を聴衆に理解してもらうことができるかも重要な要素です。7分間原稿を見ずに精一杯発表します。

発表分野と内容については次のとおりです。

■Ⅰ類 生産・流通・経営

1. 農業生物の育成や生産性向上に関する事
2. 農業生産物の流通や消費に関する事
3. 農業の経営や経済活動に関する事

■Ⅱ類 開発・保全・創造

1. 生産物の加工技術や商品に関する事
2. 国土や地球環境の保全・創造に関する事

■Ⅲ類 ヒューマンサービス

1. 動植物や地域資源の活用に関する事
2. 地域の食文化や伝統文化の継承に関する事



【農業情報処理競技会】

農業情報処理に関する基礎的な知識を問うとともに、パーソナルコンピュータを使用した表計算並びに考察文書処理を行う競技会です。1時間の制限時間内に、表計算処理、グラフ作成は、指示された内容に従い、与えられたデータを処理し、表及びグラフを作成します。その後、作成した表やグラフを参考に考察を行い、ワープロで文書を作成します。データの的確な判断と素早い処理能力が試される競技会です。平成20年度の佐賀大会から新しい実施基準で行われました。公開競技ですので、実施は開催県が判断します。平成25年度全国大会(首都圏大会)にて、千葉県が担当して行われました。



【家畜審査競技会】

牛(乳牛・肉用牛)や豚の外貌(がいぼう)を比較・観察し、体の中でよい部分と悪い部分を見分ける目を養うことを目的とした競技会です。

通常は4頭が並べられ、その中で骨格・肉付き・乳房の形等、各部の優劣を順位付けします。制限時間は30分で、家畜をいろいろな角度から観察し、審査用紙に記入していきます。この競技は、公開種目となっています。日連から実施基準等は提示されません。



【平板測量競技】

平板測量の技術を、3~4人のグループで制限時間内での測量の正確さを競う競技会です。

【フラワーデザイン競技会】

個人あるいはチームで、園芸作物の知識や栽培技術、活用方法、フラワーデザインに関する

学習の成果を競い合うものです。

【クラブ員代表者会議】

全国の単位クラブの会長（代表者）が参加して行われる会議です。
毎年3つのテーマについて話し合います。

農業クラブ活動報告（平成 29 年度）

- 福島県学校農業クラブ連盟 技術競技大会 家畜審査競技（福島市 家畜研究所）
平成 29 年 6 月 7 日（水）～8 日（木）
「肉用牛の部」
生産流通科 2 年 伊東 源貴【優秀賞】
- 福島県学校農業クラブ連盟 意見研究発表大会（J A 会津よつばパストラルホール他）
平成 29 年 6 月 15 日（木）～16 日（金）
「意見発表 分野：Ⅲ類」
「私の考えるレストラン経営」
食品科学科 3 年 河内 夕里奈【優秀賞】
- 福島県学校農業クラブ連盟 技術競技大会 農業情報処理競技（相馬農業高等学校）
平成 29 年 7 月 4 日（火）～5 日（水）
食品科学科 2 年 深谷 龍登【優秀賞】
- 福島県学校農業クラブ連盟 技術競技大会 （相馬農業高等学校）
平成 29 年 8 月 8 日（火）～9 日（水）
「農業鑑定競技 分野：食品」
食品科学科 3 年 芥川 桃佳【優秀賞】
食品科学科 1 年 生方 美穂【優秀賞】
- 第 68 回日本学校農業クラブ 全国大会 （岡山県岡山市）
平成 29 年 10 月 24 日（火）～26 日（木）
「農業鑑定競技 分野：食品」
食品科学科 1 年 生方 美穂【出場者】

農業クラブ活動報告（平成 28 年度）

- 福島県学校農業クラブ連盟技術競技大会家畜審査競技大会（福島市 畜産研究所）
平成 28 年 6 月 8 日（水）～9 日（木）
「肉用牛の部」
生産流通科 2 年 石原 綾乃【優秀賞 2 席 福島県代表として東北大会出場】
生産流通科 3 年 丹野 佑磨【優秀賞】
「乳用牛の部」

生産流通科 3 年 鈴木 舞子【優秀賞】

●福島県学校農業クラブ連盟技術競技大会（岩瀬農業高校、白河実業高校）

平成 28 年 7 月 7 日（木）～8 日（金）

「農業鑑定競技 分野：食品」

食品科学科 2 年 芥川 桃佳【優秀賞】

●福島県学校農業クラブ連盟県大会（磐城農業高校）

平成 28 年 6 月 16 日（木）～17 日（金）

「意見発表 分野：I 類」

「地域を取り入れた和牛経営を目指して」

生産流通科 2 年 長井 優太【優秀賞】

●日本学校農業クラブ東北連盟大会岩手大会（岩手県 八幡平市）

平成 28 年 8 月 25 日（木）～26 日（金）

「家畜審査競技 肉用牛の部」

生産流通科 2 年 石原 綾乃【優秀賞】

農業クラブ活動報告（平成 27 年度）

●福島県学校農業クラブ連盟技術競技大会家畜審査競技大会（福島市 畜産研究所）

平成 28 年 6 月 2 日（火）～3 日（水）

「肉用牛の部」

生産流通科 3 年 金内 匠【優秀賞】

「乳用牛の部」

生産流通科 3 年 細谷 純加【優秀賞】

●福島県学校農業クラブ連盟技術競技大会（磐城農業高校）

平成 28 年 7 月 15 日（火）～16 日（水）

「農業情報処理競技」

食品科学科 2 年 戸井田 裕那【優秀賞 福島県代表として東北大会出場】

「農業鑑定競技 区分：食品科学」

食品科学科 3 年 松崎 明日香【優秀賞】

●福島県学校農業クラブ連盟県大会（福島市 県青少年会館）

平成 28 年 6 月 16 日（火）～17 日（水）

「意見発表 区分：食料・生産」

「しいたけから始まる福島復興」

食品科学科 2 年 増子 蓮太郎【優秀賞】

「意見発表 区分：環境」

「ひとつの植物 ひとつの世界」

生産流通科 3 年 新田 幸祐【優秀賞】

「プロジェクト発表 区分：食料・生産」

「地域に根ざしたブルーベリー加工品の製造研究」

食品科学科 3 年 遠藤勇人、遠藤瑞希、青戸三奈、安藤桃花、鈴木一華

●日本学校農業クラブ東北連盟大会宮城大会（宮城県 名取市） 出場

平成 28 年 8 月 26 日（水）～27 日（木）

「農業情報処理競技」

食品科学科 2 年 戸井田 裕那

●日本学校農業クラブ全国大会 群馬大会 出場

「農業鑑定競技 区分：畜産」

生産流通科 2 年 佐川 加奈

「農業鑑定競技 区分：食品科学」

食品科学科 3 年 松崎 明日香

●毎日新聞社主催 第 43 回毎日新聞農業記録賞

「高校生部門」

「コンニャクに込めた私の思い」

生産流通科 3 年 細谷 純加【優良賞】

●平成 27 年度福島県高等学校農業技術検定 特級合格

「種目：畜産」

生産流通科 3 年 藤田 潤平

「種目：食品科学」

食品科学科 3 年 松崎 明日香

●棚倉警察署から感謝状授与（棚倉町）

平成 27 年 12 月 28 日（金）

生産流通科 3 年 細谷純加、下重絢太郎、新田幸祐 （農業クラブ代表として）

農業クラブ役員紹介

役職	年組番号	氏名
会長	3年2組	伊東 源貴
副会長	3年2組	小野 直気
	2年3組	生方 美穂
書記	3年2組	小椋 志保
	2年2組	齋須 友輔
会計	3年3組	深谷 龍登
	2年3組	市川 稜
監事	3年3組	近藤 有芽
	2年2組	藤田 蘭
議長団	3年3組	佐久間 加奈
	2年2組	矢吹 尚雅
	2年3組	佐々木 晴樹

クラス役員

※網掛けは、クラブ役員を兼ねる

1年2組	神賀 萌花	鈴木 麻弥	
1年3組	田代 怜	近藤 愛華	
2年2組	齋須 友輔	矢吹 尚雅	藤田 蘭
2年3組	市川 稜	鈴木 陸	
3年2組	伊東 源貴	小野 直気	小椋 志保
3年3組	河野 颯馬	野崎 大輔	